

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2013年 3月発行

はもりあ四日市の一大イベントである「はもりあフェスタ」が盛況のうちに終わることができました。半年間に渡り熱心にご討議、準備に携わっていただいた企画運営委員会みなさんに感謝です。また、当日ご来場いただいた方の中には、初めて“はもりあ”にお越しいただいた人も多く、広く市民のみなさんに“はもりあ”の活動を知っていただけたことはとても嬉しいことです。これからも“はもりあ”は、“市民のみなさんと共に”歩んでいきたいと思っています。



2月8日(金)～10日(日)

「はもりあフェスタ」を開催しました！

★2月8日(金) オープニングイベント
ディキシーランドジャズ演奏と映画上映

女性10人のバンド「シャイニーシスターズ」。♪ユー・アー・マイ・サンシャイン ♪恋のバカンスなど9曲を演奏いただきました。アンコールのかけ声も出て、彼女たちのパワフルな演奏により、会場は熱気に包まれました。

その後、ドキュメンタリー映画「晴れ舞台はブロードウェイで！～シニア劇団の挑戦～」を鑑賞。ここでは元気な高齢者たちにパワーをもらいました。



★2月10日(日) エンディング講演会

「もっと身近に もっとつながる 共同参画 ～子育て・介護・政治の現場から～」

子育て・介護・政治にかかわる活動をしている3つのグループから、活動の目的やそこから見えてきた課題について報告をしていただきました。その後、反貧困ネットワークあいちの事務局長である樽井直樹さんからご自身の活動や各グループからの報告を受けて、それぞれの活動が繋がっていくことの必要性をお話いただきました。

【 facebook で子(孤)育てママを応援 】NPO法人 愛ママズIT倶楽部 川北さんより

子育てに奮闘する毎日の中で、悩みを相談する場もなく、ひとりで抱え込んでいるママたち。そんなママたちの孤独な育児を解消することはできないか。そこで、facebook(インターネットを使って友達と交流するもの)を活用することで、自分と同じような価値観をもった人と考えや悩みを共有することができ、社会とつながっていると感じることができる。私たちは、それを応援していきたいとお話いただきました。

【 介護は「家族共同参画」 】NPO法人 ウィミンよっかいち 稲毛さんより

介護の分野では、まだまだ女性の仕事という考え方が一般的。一方で男性は、高齢の母親を同居の息子が介護しているなど、必要に迫られてということが多いのが現状です。介護は、特定の誰かにその負担が偏らないように、家族が協力しあい、負担も分かち合う家族共同参画が必要であることをお話いただきました。

【 男女共同参画社会実現のカギは女性の政治参画 】NPO法人 四日市男女共同参画研究所 山中さんより

子育て、介護、労働など女性の問題はたくさんあるのに、いつまでも解消されないのはなぜか。これは政治を決めるところに女性がないからではないか。そこで、女性の政治参画を、男女共同参画社会を実現するための究極の課題と考え、さんかくカレッジ「女性と政治参画」をはじめ、身近な自治会でも、自治会長730人中で女性はたった19人という現状の中、自治会への女性の参画の取り組みをお話いただきました。

【 貧困に苦しむ人を作らない社会へのネットワークづくり 】反貧困ネットワークあいち 樽井さんより



反貧困ネットワークは、愛知県で、生活保護・ホームレス・外国人移住者などの支援、労働問題、クレサラ問題などを行っていた個人がつながり、貧困を克服していく場として2010年に結成されました。貧困問題に関する政策提言、各地で行う相談会、さまざまな分野の活動を学び交流する学習会の3本柱で活動をしています。

男女共同参画は、貧困を含む私たちの周りの問題を解決していくツールだと思う。「人間らしく」という観点で平等を実現していくことがカギ。どんな活動でも人と人がつながり、共同するためのネットワークづくりが必要で、報告のあったグループの活動の中でも、しっかりとつながりを感じたとお話いただきました。

はもりあフェスタ 来場者数 延べ1200人!

2月8日(金)～10日(日)に開催しました「はもりあフェスタ」も無事終了いたしました。多くの皆様にお越しいただき「はもりあ四日市」を知っていただくことが出来ました。

～はもりあフェスタ企画運営委員会～

「はもりあフェスタ」は、登録グループ間の交流や男女共同参画について考えるきっかけづくりのイベントを行うことを目的に、登録グループと行政が協働して企画しました。

16人の企画運営委員のみなさんには、9月から開催日まで4回の委員会と各部会（オープニング・エンディング部会、展示部会、チャレンジショップ部会）で活発にご議論いただきました。

各部会でもより良いものを目指し活発に意見交換がされました。

また、来年度にも繋げていきたいと思っております。



《第1回運営委員会》

ワークショップ

～はもりあ四日市企画講座～

「メディアと男女共同参画」

自ら情報を読み解く能力（メディアリテラシー）を養う講座です。メディアから発信される膨大な情報が、どんな意図で作られ発信されているかを、自分で判断し活用することの大切さを教えていただきました。

《講師の小川真知子さん》

「歴史の舞台に登場した女文士たち」
～幕末から明治へ 女の夜明け伝～

“女には学問は要らない”そんな時代に、少しずつ目覚めて、文学の世界で活躍した女性たちの生涯を熱く語っていただきました。



《講師の河原徳子さん》

～市民企画講座～

男だから、女だからという性別にかかわらず、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、9つのワークショップが開催されました。各グループとも特徴を活かしながら、趣旨を踏まえた内容の講座でした。参加者からは、「はじめてはもりあを利用して男女共同参画について関心を持った」「また参加したい」などの感想をいただきました。



《自分磨き》



《子育て・介護支援》



《健康》



《男女共同参画》

チャレンジショップ

《適職診断》



44の出店があり、たいへん賑わいました。出店者からは「出店者同士の交流や意見交換が出来て良かった」との声が多くありました。

また、起業のための講座や成功例の紹介を望む声も多くあり、今後の企画に反映していきたいと思っております。



《チャレンジショップで賑う1階ホール》



《ランチで賑うミーティングフロア》

展示

《はもりあ四日市登録グループの活動内容を展示しました》



三重県内
5つのセンターの活動紹介

さんかくカレッジの報告とお知らせ

【世界の料理を楽しもう!! (モンブラン会)】

各国の男女共同参画の事情と料理や楽器演奏を通して生活や文化を学ぶ講座を開催しました。

第1回は海の幸いっぱい台湾おこわ、第2回はフィリピンの伝統的な家庭料理アドボ（鶏と豚肉の漬け焼き）。第3回はイタリアのパスタを生地からこねて作りました。食後はアコーディオン奏者のアンジェロ・アクイリーニさんによる公開演奏を楽しみました。

フィリピンでは政治の場で、クォーター制(割り当て制)を採用しているなど男女平等の意識が強いというお話は印象的でした。それぞれの国によって、男女に関わる意識もいろいろであることを学びました。



アコーディオン演奏の様子

【ヘルサイズのはら (まんなか)】

今回の講座は男性も女性も健康に生活していくために、日々の生活を見直すキッカケ作りにもなろうと企画されました。



セラバンド体操の様子

貯筋体操、第5回はこれまでの講座の振り返りと修了式を行いました。食事のこと、運動のこと、男も女も自分の健康は自分で守ることの大切さを学びました。

第1回はメタボリックシンドロームの学習、第2回はロコモティブシンドローム（骨・関節・筋肉などの衰え、障害により介護等のリスクが高い状態）の学習、第3回は食事チェックと嗜好品のカロリーについて、第4回は運動講座と

【お父さんも家事を楽しみませんか (四日市友の会)】

家庭生活において、男性も家族の一員として家事参加をすることが必要です。

そこで、これまで家事をしたことがない人でも家事参加できるよう「家事のコツ」を学ぶために企画されました。今回は30代～60代の男性13名が参加しました。

第1回はご飯のおいしい炊き方と味噌汁の作り方、第2回は災害に備える講義と防災頭巾の作成、第3回は掃除洗濯のコツときれいなアイロンのかけ方、第4回はアジを手で開いて蒲焼とつみれ鍋を作りました。みなさん熱心に取り組んでいました。今後の“家庭人”としての活躍が楽しみです。



第2回の防災頭巾作り

お知らせ!

【春休み子どもさんかくカレッジ 親子料理教室】

料理することを通して、子ども達に家族の一員としての役割について考えてもらう機会として開催します。

日時 3月23日(土) 10:00～12:30
場所 本町プラザ 3階「はもりあ四日市」調理室
内容 手作り簡単ウィナーでホットドッグ&春野菜のスープ作り

講師 吉武奈穂子さん
対象 市内の小学生とその保護者

参加費 1家族500円
定員 12組(応募多数の場合は抽選)

申込方法 往復はがきに、講座名・参加する大人と子どもの名前(ふりがな)・学年・連絡先の住所・電話番号、託児(名前と年齢)の有無を、記入し、はもりあ四日市まで。

3月8日(金)必着

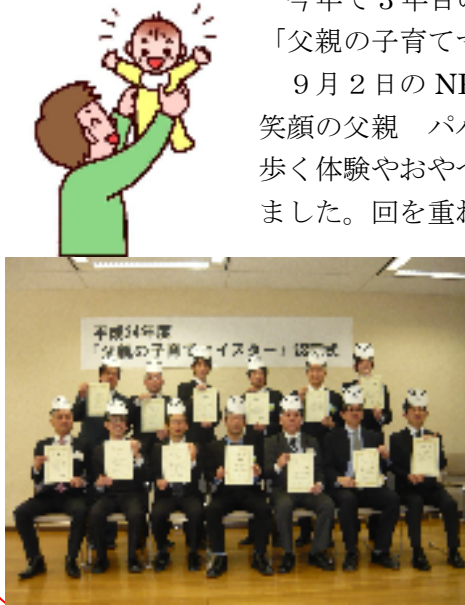
父親の

平成24年度 子育てマイスター認定式

今年で3年目の子育てマイスター養成講座、今年度も2月16日に新たに16人の「父親の子育てマイスター」が誕生しました。

9月2日のNPO法人ファザーリングジャパン副代表 安藤哲也さんの公開講座「めざせ！笑顔の父親 パパの笑顔が四日市を変える！」から始まり、妊婦ジャケットを身につけて歩く体験やおやつ作り、子どもとの遊び方、先輩パパとの懇談会など6回の講座を実施しました。回を重ねるごとにパパたちのつながりが深まり、家族間の交流もできました。

2月16日の認定式では、パパたちがスーツにパンダのお面で登場。これまでの活動について、笑いあり、涙ありで報告した後、認定証の授与式。そして「ママと二人で楽しい子育て」「怒らず話を聞く」「ハッピーを与えられるパパになる」「一緒に育つパパになる」「家族や地域に愛される父親になります」など、16人ひとりひとりが「**パパ宣言**」をしました。この講座期間中に2人の受講生がパパになり、仲間から祝福を受けました。ぜひ、かっこいい育メンになってください。新しいマイスター達は、「PAPA SUNS 468」というグループを結成。はもりあ四日市でも、今後の活動を応援していきたいと思ひます。



登録グループイベント情報

3月16日(土) 長田 弘さん 講演会 「こどもの読書の森へ」

日本を代表する詩人 長田 弘さんをお招きして、読書がもたらしてくれる世界や子どもの本について語っていただきます。

時 13:30~15:30 所 じばさん三重 視聴覚室

参加費 800円 定 80人 (先着順)

申・問 岡田博子 (Can) (TEL059-352-3094・FAX 059-352-3138)

Eメール okadas55@m2.cty-net.ne.jp

3月31日(日)

いちご狩りのお知らせ!

ご家族みなさんでお出かけくださいね!

時 午前11時 現地集合 定 50組

所 トリックスいちご園 (鈴鹿市東玉垣 300-1 木下カズ 鈴鹿玉垣店敷地内)

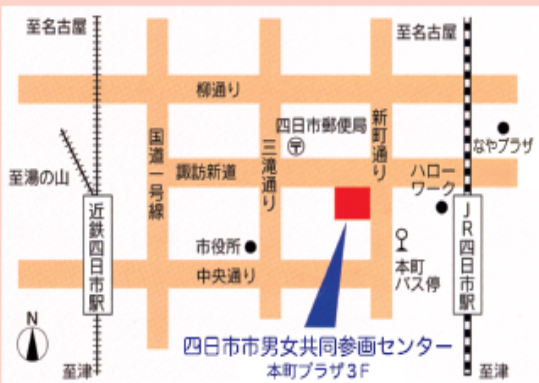
参加費 大人(中学生以上)1600円、小学生1400円、幼児(3歳以上)1100円

申・問 Happy よかパパまで、氏名・電話番号・メールアドレス・参加人数の内訳を

記入し(yokkaichi_papa@yahoo.co.jp)までお申込ください。

◎◎◎あとかき◎◎◎

3月8日は「国際女性デー」です。ニューヨークの労働者街でパンと参政権を要求して行ったデモに由来するといわれ、女性の政治的平等と平和、地位向上のための国際デーとされています。今月の清水のあとかきでした。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml